

目 次

序 人文社会科学の教育・研究法における映像の高度利用に関する研究	1
山 中 速 人	
研究の趣旨と目的	1
研究の内容と方法	1
家族研究の教育・研究における映像利用	3
立 木 茂 雄	
研究の目的と枠組み	4
家族研究法における調査・研究の課題	4
家族システムを調査・研究の対象とする試み	4
家族評価方法の妥当性・信頼性	4
家族評価方法の分類	4
インサイダー報告の限界－妥当性に対する疑問	5
主観的評価の限界－信頼性に対する疑問	6
システムレベルでの評価尺度：行動計測法	6
行動計測法測定用具開発の必要性	6
測定用具の開発	6
評価の信頼性の確保－映像の高度利用	7
研究の背景	7
家族システムの円環モデル	8
円環モデルの構成概念	8
構成概念間の機能的関係	9
円環モデルと外部変数との機能的関係	12
研究の方法	13
関西学院版模擬的家族活動測定法－S I M F A M K Gの開発	13
S I M F A M	13
開発目的	13
ゲーム課題の内容	13
評価可能な変数（構成概念）と評価基準	15
S I M F A Mを用いた家族相互作用研究	16
S I M F A Mを用いた円環モデルの実証研究	20

S I M F A M K G	23
円環モデル測定用具としての S I M F A M の有用性	23
開発過程	24
相互作用行為のカテゴリーとコード化の基準	26
映像データベースの開発－評価の信頼性の向上	27
家族得点の算出	28
研究の成果	29
円環モデルの構成概念妥当性の検証研究	29
FACESKG と SIMFAMKG を用いた	
多特性・多方法行列による検証	29
FACESKGII と SIMFAMKG を用いた	
多特性・多方法行列による検証（Ⅰ）	30
FACESKGII と SIMFAMKG を用いた	
多特性・多方法行列による検証（Ⅱ）	31
家族の現実構成スタイルの研究	00
危機状況に家族が与える意味付け	00